

平沢小学校・院内小学校 統合準備委員会 第 1 回教育部会 議事録

令和 8 年 5 月 1 3 日（水） 18:00 ～ 19:15 平沢小 校長室

1. 統合準備委員会の組織体制と運営方針について

(1) 教育部会の構成見直し

当初の組織案では教育部会に PTA 副会長を含める予定だったが、協議内容が教育課程、学級編成、教職員の組織運営、公文書管理といった専門的・事務的な事項となることから、校長、教頭、教務主任を中心とした構成に変更すること、学校事務の効率化と専門性を担保するため、「にかほ市学校事務共同実施組織グループリーダー」を正式な構成員として追加することなどが提案された。

(2) 学校生活部会における保護者・地域代表の参画

児童の通学や放課後の生活を協議する「学校生活部会」については、以下の通り構成の変更を提案する。

- **PTA 代表**：継続性を考慮し、現在の 5・6 年生の保護者からの選出とする。
- **未就学児保護者**：統合後に新入生として入学する児童の保護者の声を反映させるため、にかほ保育園および認定こども園の保護者会会長に参画を依頼する。

(3) 統合形態の再確認

新設統合ではなく、平沢小学校を存続校とする「融合型統合」であることを再確認した。これにより、校名、校章、校歌は原則として現在の平沢小学校のものを継続使用することとなる。また、PTA 組織の統合については、融合型であることを踏まえ、令和 9 年度からの検討開始とするスケジュール案が示された。

2. 施設・設備整備に関する詳細事項

(1) 学級数予測と教室確保のシミュレーション

令和 10 年度の統合時、平沢小学校の学級数は以下のように推計されています。

学級種別	学級数	備考
普通学級	12 学級	各学年 2 学級編成（見込み）
特別支援学級	3 学級	現在の状況から推計
合計	15 学級	

この 15 学級を収容するため、以下の教室転用案が協議されました。

- **特別支援学級の配置**：1 階ミーティングルーム、3 階「特活室」の 2 箇所を普通教室仕様に改修し、特別支援学級として活用する。（2 階「桃組」はそのまま）
- **ミーティング機能の代替**：上記転用により不足する会議・多目的スペースについては、「第 1 音楽室」を改修し、代替場所として確保する。

(2) 老朽化対策と ICT・環境整備

- **暖房設備（FFストーブ）の一括更新：**設置から長期間が経過し、部品の調達が困難なストーブが多いため、統合を機に全館一括更新を要望。学校側からは、各教室での消し忘れ防止や一括管理、暖房費のコストカットが可能な「集中制御システム」の導入が強く要望された。
- **校舎の修繕要望：**
 - 職員玄関のオートロックが故障しており、防犯上の懸念が大きく、早期の修理または更新を求める。
 - 1階教室の窓サッシが塩害・錆により開け閉めが複数あり、冬場の防寒および防犯の観点から優先的な修繕を依頼。（可能であれば2階と3階も）
- **遊具の安全性：**使用時の安全性の確保ができない遊具については撤去を希望する。

(3) バリアフリー化と通学環境の整備

- **肢体不自由児への対応：**統合校として多様な児童を受け入れるため、階段昇降機の設置や、段差解消のためのスロープ整備を検討。7月の予算検討会議に向けて、設置場所や仕様の精査を継続する。近日中に市教委を窓口として対象児童保護者の校舎見学を実施する。
- **スクールバスロータリーの整備：**院内小学校区からのバス通学児童が増加するため、北門（狹隘道路）ではなく、比較的スペースの確保が可能な南門側へのロータリー設置案について、市教育委員会が調査・検討を進め、学校生活部会で協議する。

3. 教育課程の編成と交流事業の推進方針

(1) 児童の交流学習計画

統合時に同じクラスとなる現在の4年生（R10年度6年生）以下の児童を対象に、今年度から合同授業や行事での交流を実施する。特に、心理的な壁を取り払うため、スポーツや共同学習など、直接触れ合う機会を増やす計画を策定する。

(2) 閉校・開校に関連する諸行事

- **融合型統合のセレモニー：**儀礼的な「開校式」は行わず、統合初日の始業式を「融合・平沢小学校」のスタートとして位置づけ、児童の帰属意識を高める温かなセレモニーとする。
- **院内小学校の閉校事業：**地域のシンボルである院内小の歴史を締めくくる閉校事業は、院内地区の実行委員会が主体となって検討を進める。（本部会の協議案件からは外す。）
- **公文書・歴史資料の継承：**院内小の永年保存文書や記念品等の保管について、平沢小のスペース（金庫の配置等）を確認し、散逸しないよう管理体制を構築する。

4. 今後の課題

予算に関わる「暖房設備」「バリアフリー化」「ロータリー整備」については、7月の市予算要望に向けて優先順位を明確にしていく必要がある。